

江戸川 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 発展音楽

教科：芸術 科目：発展音楽 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 1組～ 8組

使用教科書：（ ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 発展音楽 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創					
歌唱 【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、体の使い方などの技能を身につける。他者との調和を意識して歌う。表現形態の特長や表現上の効果を生かして歌う。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びそれによって生み出される表現上の効果を理解できる。言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びそれによって生み出される表現上の効果を理解できる。様々な表現形態の特長や表現上の効果を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。	発声の基本 発声方法 「校歌」 「ふるさと」 「Onbra mai fu」 他	○	○		【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、体の使い方などの技能が身につけている。他者との調和を意識して歌うことができる。表現形態の特長や表現上の効果を生かして歌うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びそれによって生み出される表現上の効果を理解できる。言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びそれによって生み出される表現上の効果を理解できる。様々な表現形態の特長や表現上の効果を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫することができる。	○	○	○	4
器楽 【知識及び技能】 楽器にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身につける。他者との調和を意識して演奏する。表現形態の特長や表現上の効果を生かして演奏する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり及びそれによって生み出される表現上の効果を理解できる。曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びそれによって生み出される表現上の効果を理解できる。様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに器楽表現を創意工夫する。	ギターの構造 ギターの基本的な奏法 ギターアンサンブル	○	○		【知識及び技能】 ギターにふさわしい奏法、体の使い方などの技能を身につける。他者との調和を意識して演奏できる。表現形態の特長や表現上の効果を生かして演奏できる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や、文化的・歴史的背景との関わり及びそれによって生み出される表現上の効果を理解できる。ギターの音色や奏法との関わり及びそれによって生み出される表現上の効果を理解できる。様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ギターの表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに器楽表現を創意工夫できる。	○	○	○	4
鑑賞 【知識及び技能】 音楽表現の共通性や固有性、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、曲や演奏に対する評価とその根拠を考える。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造や、文化的・歴史的背景、他芸術との関わりを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽のよさや美しさを自ら味わって聞く。	「校歌」 「ふるさと」 「Onbra mai fu」 イタリア歌曲 他			○	【知識及び技能】 音楽表現の共通性や固有性、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、曲や演奏に対する評価とその根拠を考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造や、文化的・歴史的背景、他芸術との関わりを理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽のよさや美しさを自ら味わって聞くことができる。	○	○	○	1
創作 【知識及び技能】 音楽を表現する上での共通認識である記譜上の記号や役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造をどのように表すか理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽のよさや美しさを自ら表現できるようにする。	音楽理論 楽典の基礎 他		○		【知識及び技能】 音楽を表現する上での共通認識である記譜上の記号や役割を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造をどのように表すか理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽のよさや美しさを自ら表現できる。	○	○	○	2
歌唱テスト 実技テスト 筆記テスト		○	○	○		○	○	○	2

